９条調査（２６年度）

平成２６年度調査報告書

組み立て式家具の安全性に関する
調査報告書

平成 27 年 9 月

東京都生活文化局消費生活部

目　次

１　調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　組み立て式家具の使用実態と危害等調査

(1)　所有家具の種類・購入先等に関するアンケート調査

ア　調査対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

イ　調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

ウ　調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

エ　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

オ　回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

カ　アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

(2)　組み立て式家具による危害等に関するアンケート調査

ア　調査対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

イ　調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

ウ　調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

エ　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

オ　回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

カ　アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

(3)　モニターによる組み立てテスト

ア　検体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

イ　方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

ウ　確認項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

エ　結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

３　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

４　消費者への注意喚起・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

５　業界団体への情報提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

1　調査目的

現在、インターネットショッピングや量販店などで組み立て式家具が多く販売されている。一方で、PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)において組み立て式家具の危害・危険情報を都が独自に集計したところ、平成 22 年度から平成 26 年度受付、平成 27 年 7 月 8 日までの登録分の相談件数は 307 件にのぼり、このうち都内で受け付けた相談が 63 件であった（「表 1-1」参照)。主な事故事例は「表 1-2」のとおり。

表 1-1　年度別 PIO-NET 登録件数(都内分)

平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
17 件	12 件	13 件	8 件	13 件

※　PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)より　都独自による集計

表 1-2　組み立て式家具に関する主な事故事例

パソコン机	パソコンデスクの下部を組立てた状態でパソコン周辺機器を置いたところ、机が転倒してフローリングに傷がつき、足に打撲を負った。
隙間収納家具	通信販売で購入した組み立て式の隙間収納家具のガラス戸が右足甲に落下し、骨折した。
テーブル	テーブルを組み立てるために天板の固定木材を持ち上げたところ、天板が外れて右足の甲に落下し、打撲を負った。
ベッド	子供が二段ベッドの上段に上がろうとベッドの柵に手をかけたところ、柵が折れてボルトが外れ、柵ごと転落してムチ打ち症になった。

※　事故情報データバンクシステムより

以上のことから､都民の組み立て式家具の安全性について消費者への情報提供や注意喚起を行うことを目的として、組み立て式家具に関する都民の使用実態や危害等について調査を実施した。

■危害　：　打撲等のケガをしたこと

２　組み立て式家具の使用実態と危害等調査

(1) 所有家具の種類・購入先等に関するアンケート調査

ア 調査対象者

20 歳以上の都民　10,314 人

イ 調査期間

平成 27 年 1 月 19 日～平成 27 年 1 月 23 日

ウ 調査方法

インターネットによるアンケート形式

エ 調査概要

組み立て式家具の種類や購入先等について調査した。

オ 回答者の属性

回答者の年代別割合は「表 2-1」のとおり。

表 2-1　回答者の属性

		20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	合計
男性	人数(人)	764	812	1170	999	902	746	5393
	割合(%)	7.4	7.9	11.3	9.7	8.7	7.2	52.3
女性	人数(人)	931	890	1021	887	844	348	4921
	割合(%)	9.0	8.6	9.9	8.6	8.2	3.4	47.7
合計	人数(人)	1695	1702	2191	1886	1746	1094	10314
	割合(%)	16.4	16.5	21.2	18.3	16.9	10.6	100.0

※本報告書における注意事項
・グラフ上の「N=〇」(〇は数字)は、回答者の数を示す。
・回答比率(%)は、少数第 2 位を四捨五入して表示しているため、合計が 100%にならないことがある。

カ アンケート調査結果

(ｱ) 組み立て式家具の組み立て経験者

組み立て式家具の組み立て経験者の割合を「図 2-1」に示す。

組み立て式家具の組み立て経験のある人は、全体の 70.0%である。

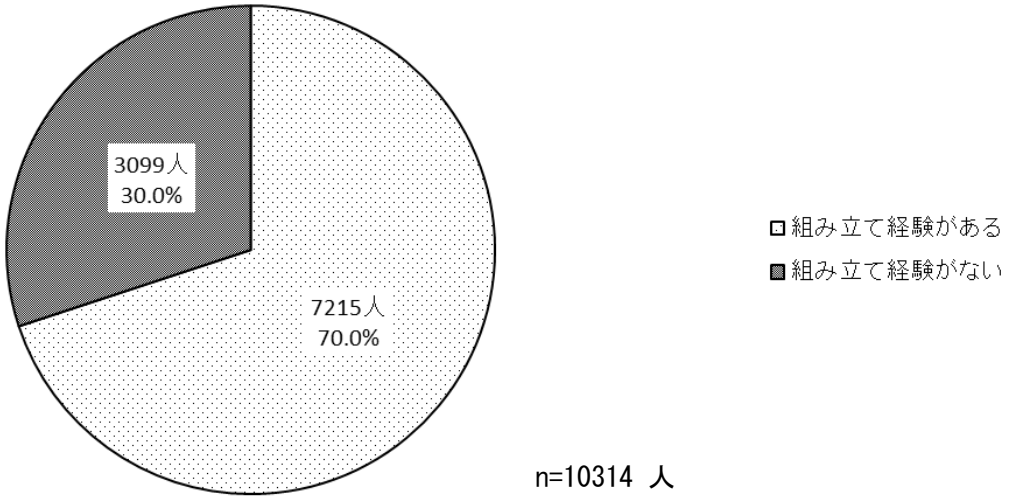


図 2-1　組み立て式家具の組み立て経験

(ｲ) 所有している組み立て式家具

所有している組み立て式家具の種類を「図 2-2」に示す。

本棚、テレビ台、机（パソコン机、学習机等）の順で家具を所有している人が多い。

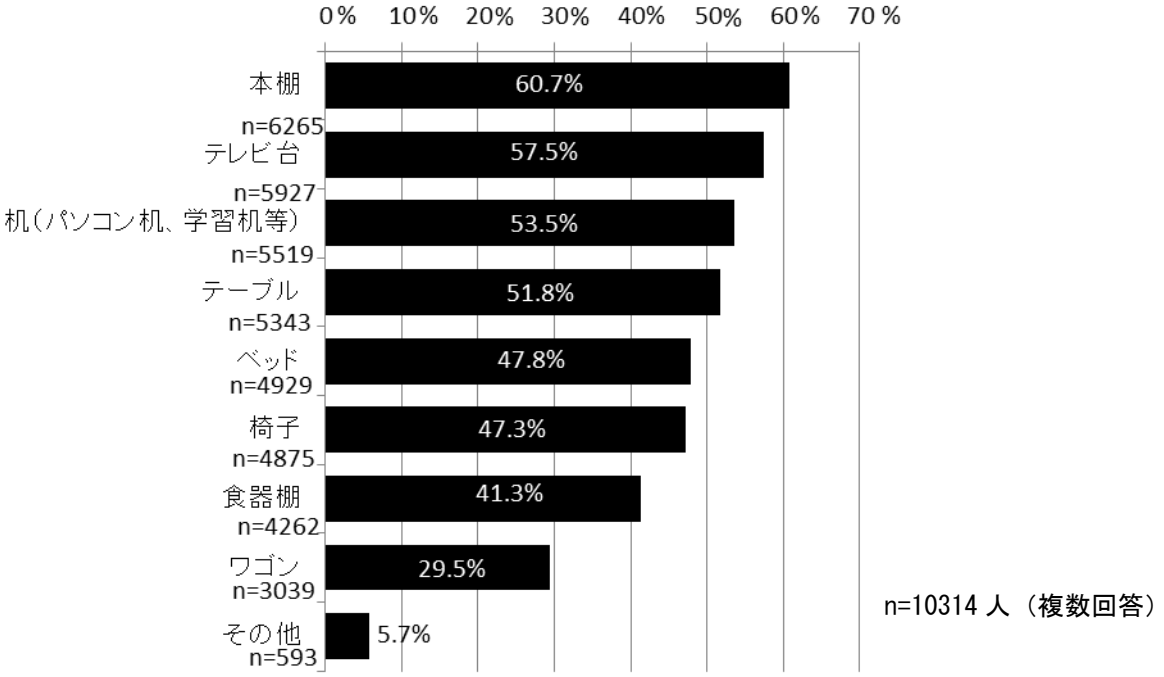
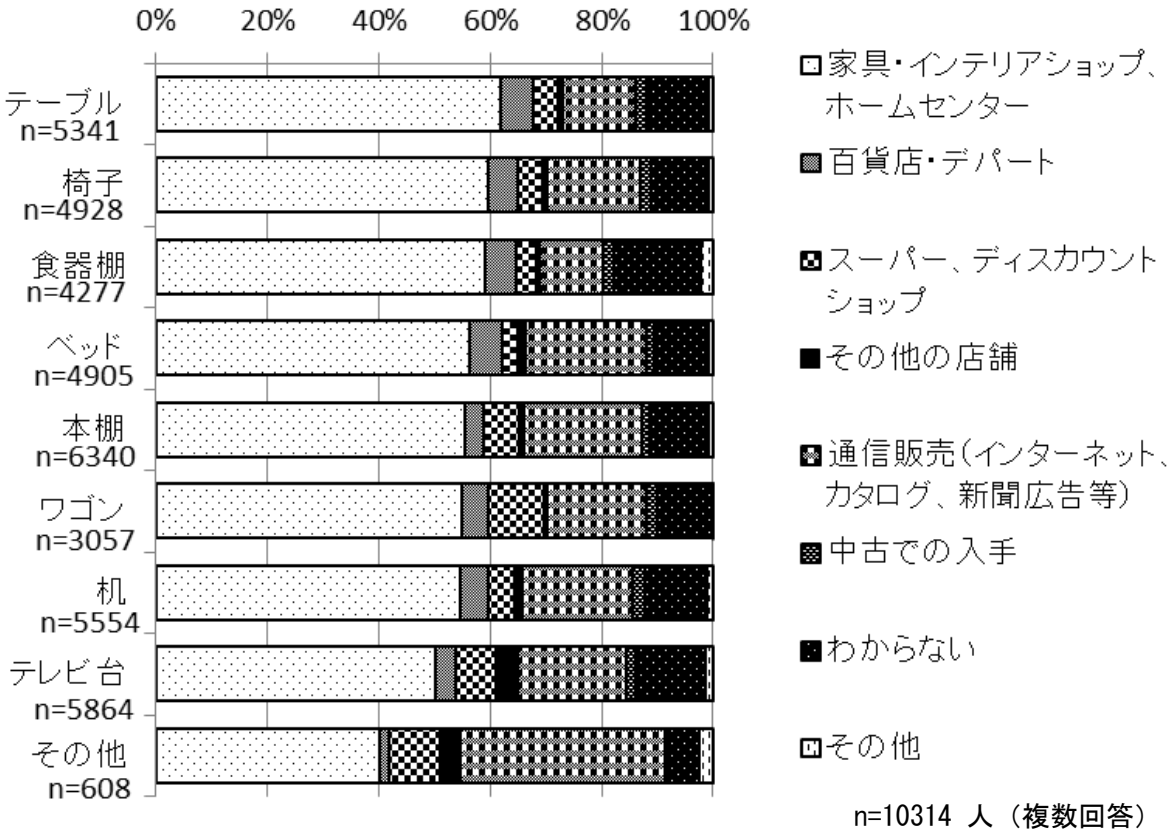


図 2-2　所有している組み立て式家具の種類

(ｳ)　組み立て式家具の購入先

組み立て式家具の購入先を「図 2-3」に示す。

いずれの家具も「家具・インテリアショップ、ホームセンター」「通信販売」の順で購入する割合が多い。



n=10314 人（複数回答）

図 2-3　組み立て式家具の購入先

(エ)　組み立てを行った人

組み立て式家具の組み立てを行った人について調査した。

いずれも自分一人で組み立てた割合が最も多い。

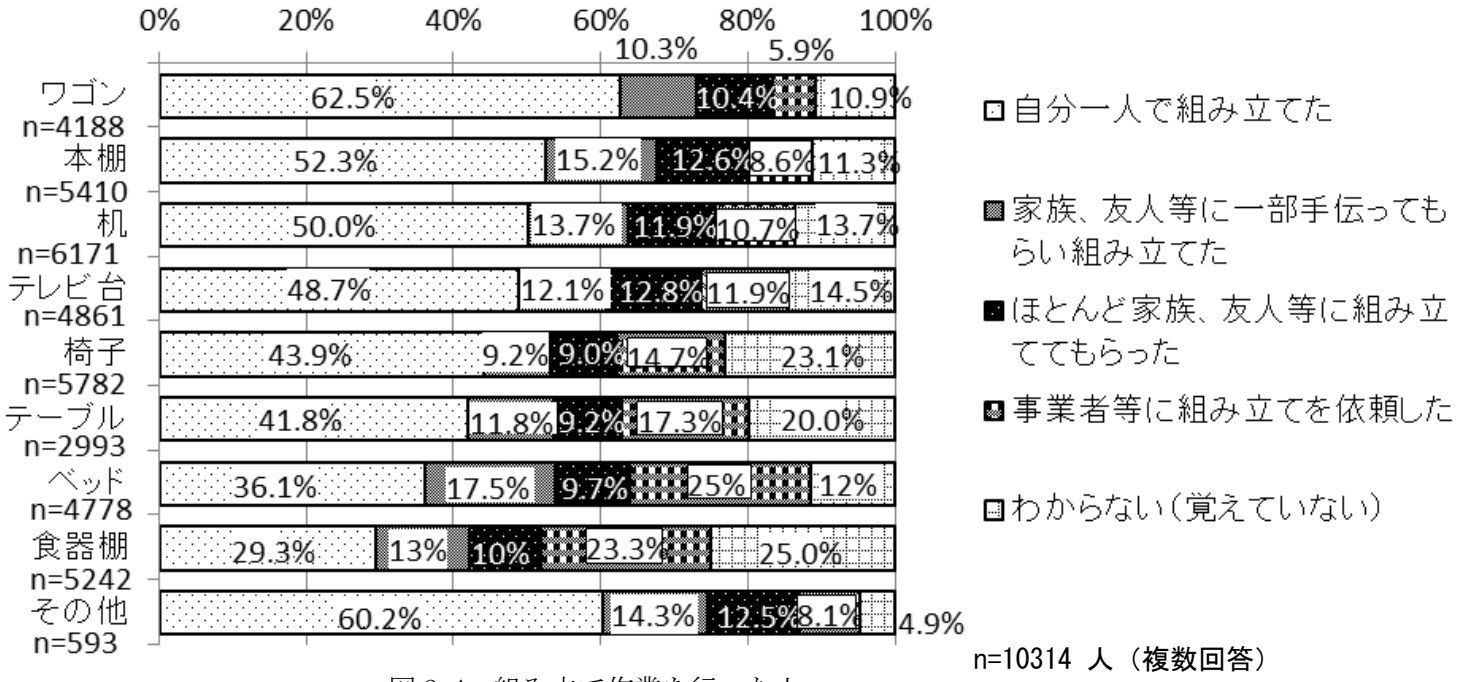


図 2-4　組み立て作業を行った人

(オ)　組み立て式家具の購入理由

これまでに購入した組み立て式家具の購入理由について調査した。

「安価だったから」という理由が最も多く、「大きさが適当だったから」「デザインがよかったから」など、価格や商品の機能により組み立て式家具を購入する人が多い傾向が見られる。一方、「自分で組み立てたかったから」など、組み立て作業に関する理由で購入する人は少ない。

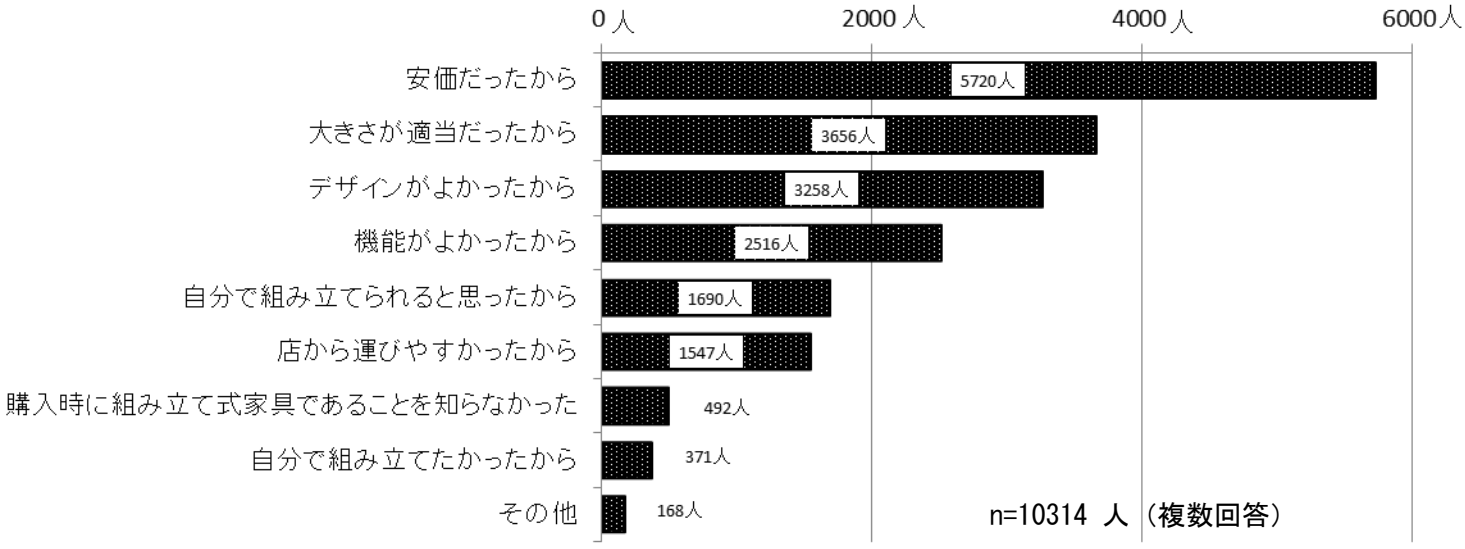


図 2-5　組み立て式家具の購入理由

(2) 組み立て式家具による危害等に関するアンケート調査

ア　調査対象者

前(1)の調査において自分が主に家具を組み立てた経験があると回答した都民1,107人

イ 調査期間

平成27年1月19日～平成27年1月23日

ウ 調査方法

インターネットによるアンケート形式

エ 調査概要

組み立て式家具の組み立て中及び使用中の危害等について調査した。

オ 回答者の属性

回答者の年代別割合は「表2-2」のとおり。

表2-2　回答者の属性

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	合計
男性	人数(人)	41	124	275	168	62	10	680
	割合(%)	3.7	11.2	24.8	15.2	5.6	0.9	61.4
女性	人数(人)	46	100	168	85	21	7	427
	割合(%)	4.2	9.0	15.2	7.7	1.9	0.6	38.6
合計	人数(人)	87	224	443	253	83	17	1107
	割合(%)	7.9	20.2	40.0	22.9	7.5	1.5	100.0

カ アンケート調査結果

(ｱ) これまでに組み立てたことのある組み立て式家具の数

これまでに組み立てたことのある組み立て式家具の数を「1 個」「2～4 個」「5 個以上」に分け、「図 2-6」に示す。

90%以上の人が二つ以上の家具を組み立てたことがあると回答している。

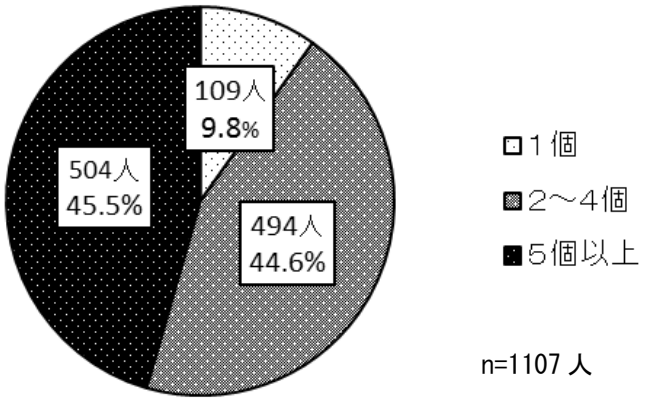


図 2-6　これまでに組み立てたことのある組み立て式家具の数

(ｲ) 年齢・性別ごとの組み立て経験

年齢･性別ごとに分け、これまでに組み立てた組み立て式家具の数を「図 2-7」に示す。20 代、30 代で、組み立て経験が少ない傾向が見られる。

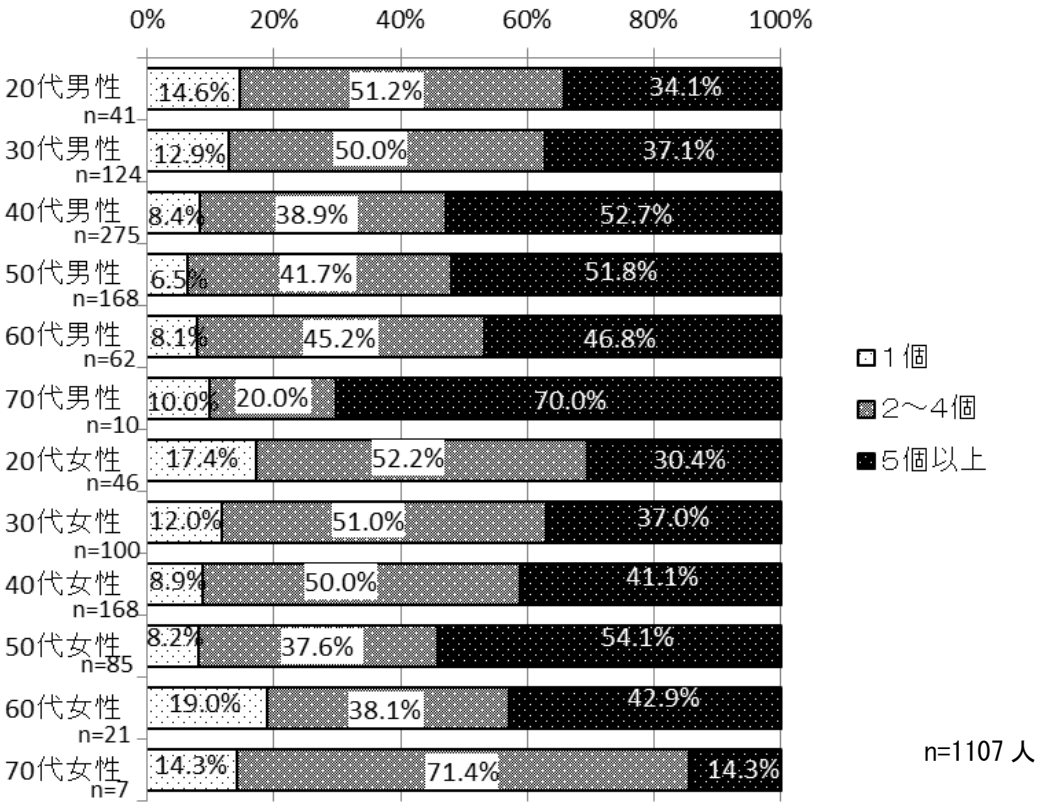


図 2-7　年齢・性別ごとの組み立て経験

(ｳ)　直近で組み立てた家具の種類と組み立て人数

直近で組み立てた家具の組み立て人数を「図 2-8」、直近で組み立てた家具の種類と組み立て人数を「図 2-9」に示す。

１人で家具を組み立てた人は 83.8%となり、ほとんどの人は家具を 1 人で組み立てている。家具の種類別では、ベッドを 2 人以上で組み立てた人の割合は 29.0%となり、他の家具に比べて最も高い。

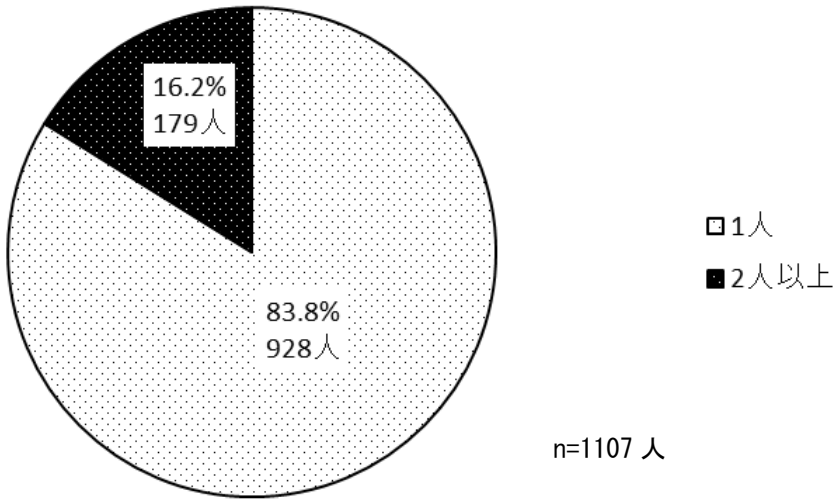


図 2-8　直近で組み立てた家具の組み立て人数

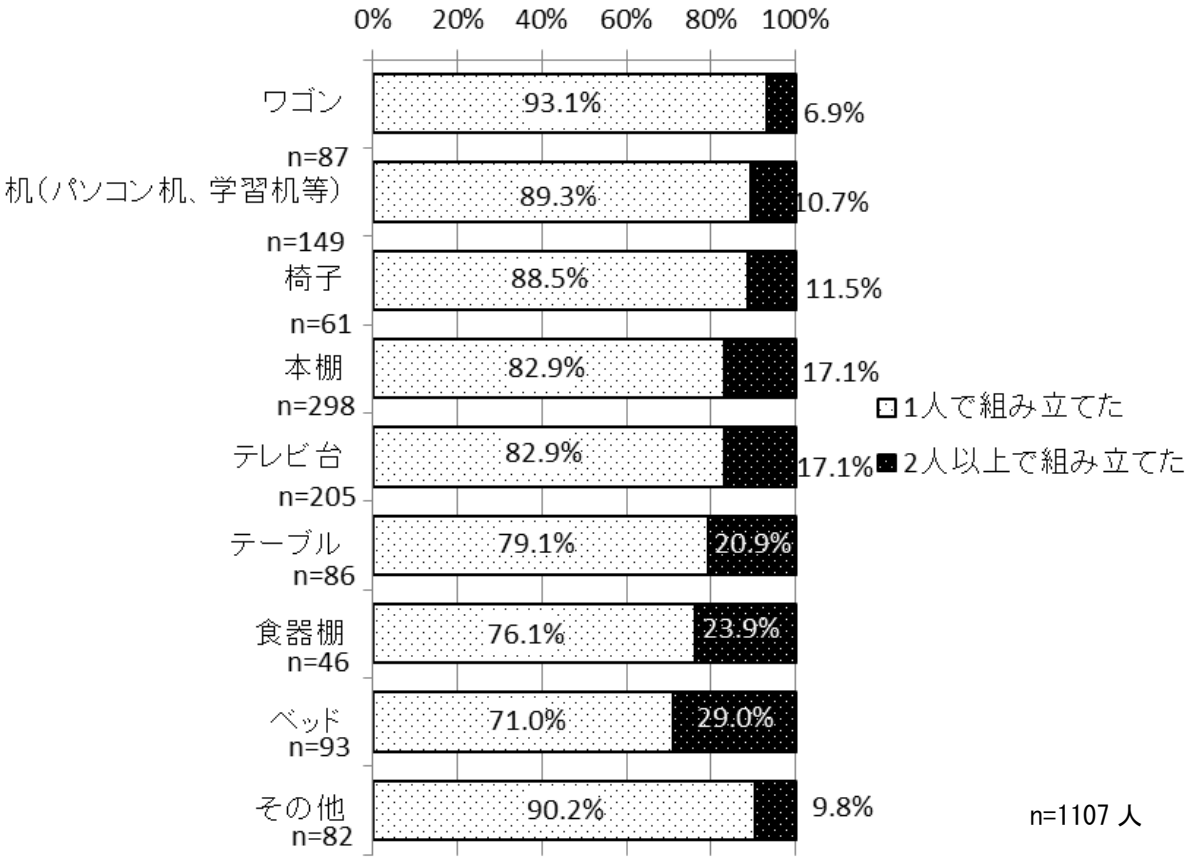


図 2-9　直近で組み立てた家具の種類と組み立て人数

(エ)　家具を 2 人以上で組み立てた理由

(ウ)において 2 人以上で組み立てたと答えた人を対象にその理由を調査した結果を「図 2-10」に示す。

「組み立て時間を短縮したかったから」が最も多く、「自分一人では難しくて組み立てられなかったから」「部品等が重かったから」「構造的に 2 人以上いないと組み立てられない家具だったから」が続く。

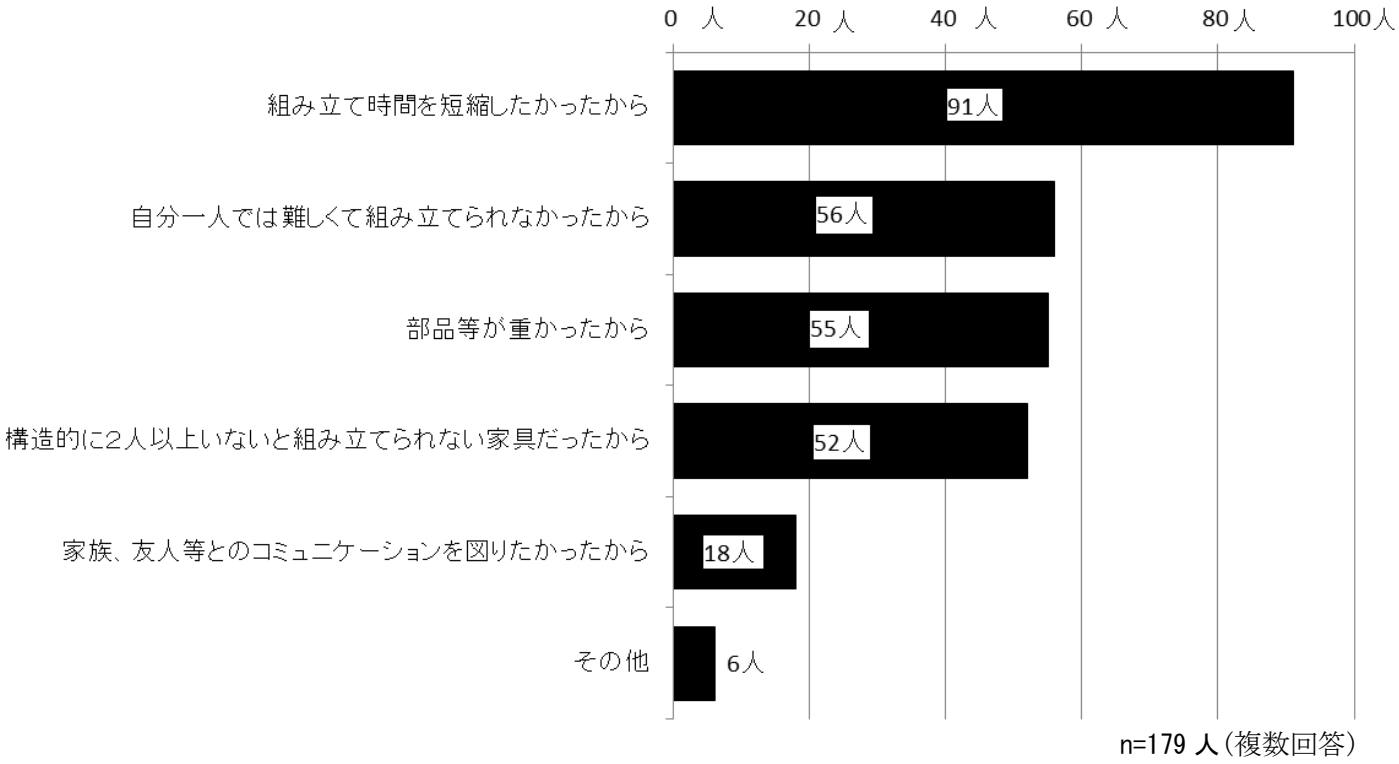


図 2-10　家具を 2 人以上で組み立てた理由

(オ)　家具の組み立て難易度

直近で組み立てた家具の組み立て難易度を調査した結果を「図 2-11」に、家具の種類別にしたものを「図 2-12」に示す。

「組み立てやすかった」と「やや組み立てやすかった」を合わせた割合は 55.4%と「やや難しかった」「難しかった」を合わせた 11.0%よりも多い。

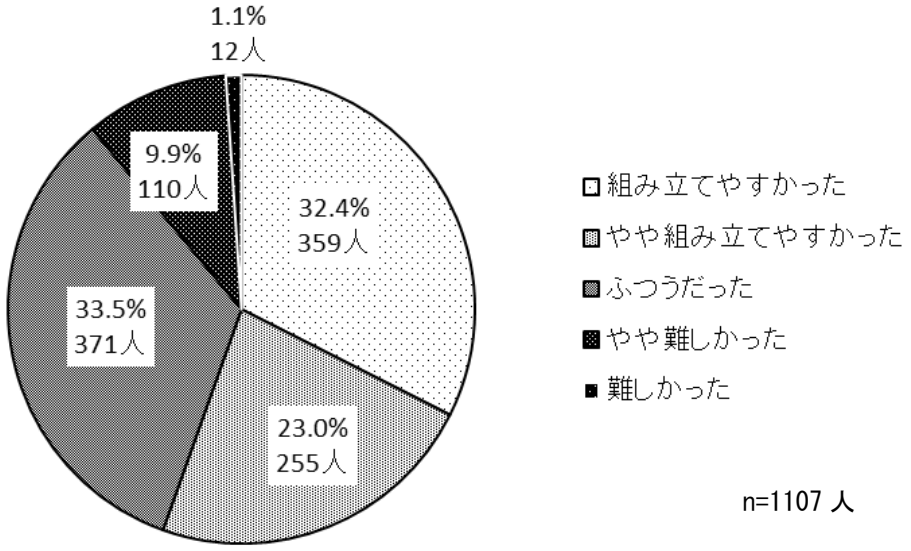


図 2-11　直近で組み立てた家具の組み立て難易度

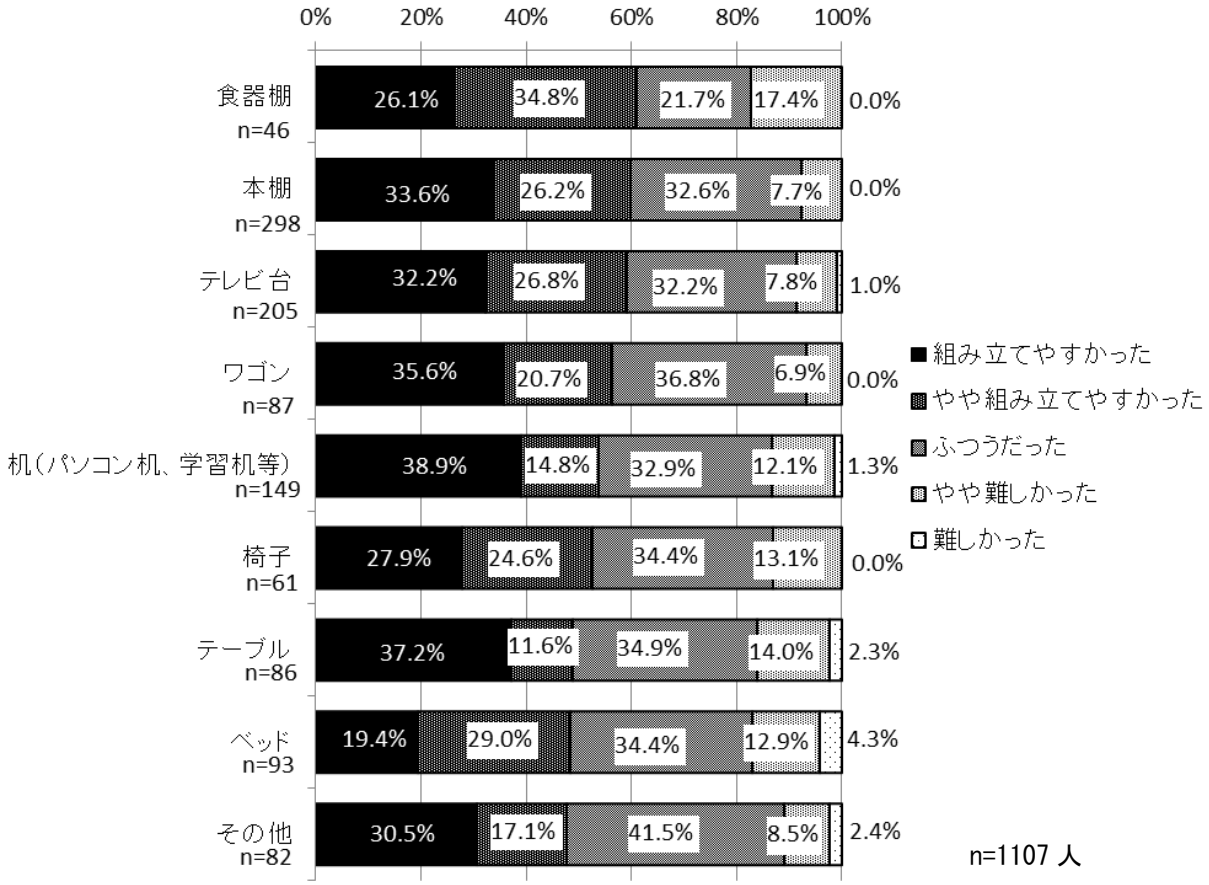


図 2-12　家具の種類別の組み立て難易度

(カ)　「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさ

直近で組み立てた家具の「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさを調査した結果を「図 2-13」に、家具の種類別にしたものを「図 2-14」に示す。

説明書等が「わかりやすかった」と回答した人が 77.6%と最も多い。

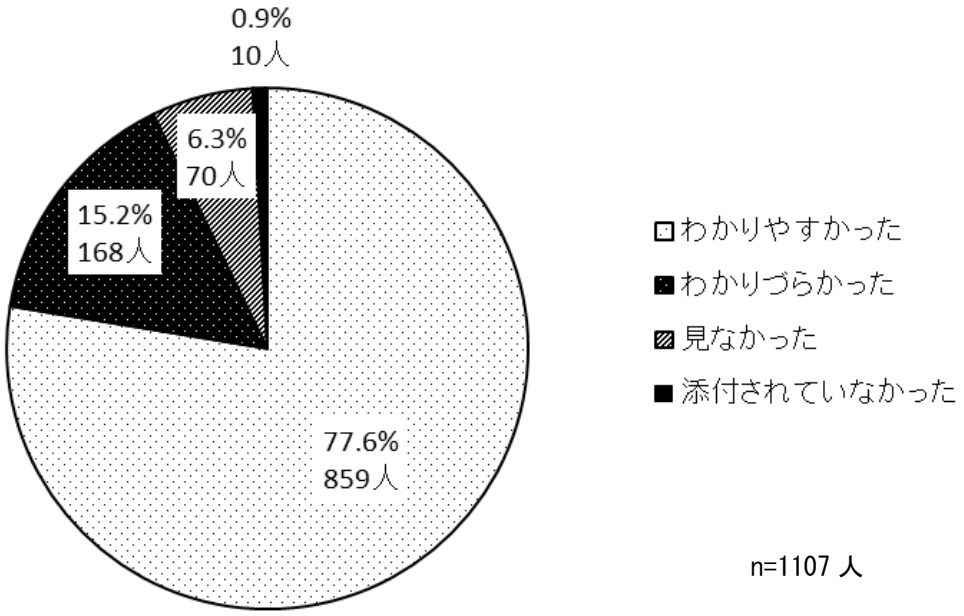


図 2-13　「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさ

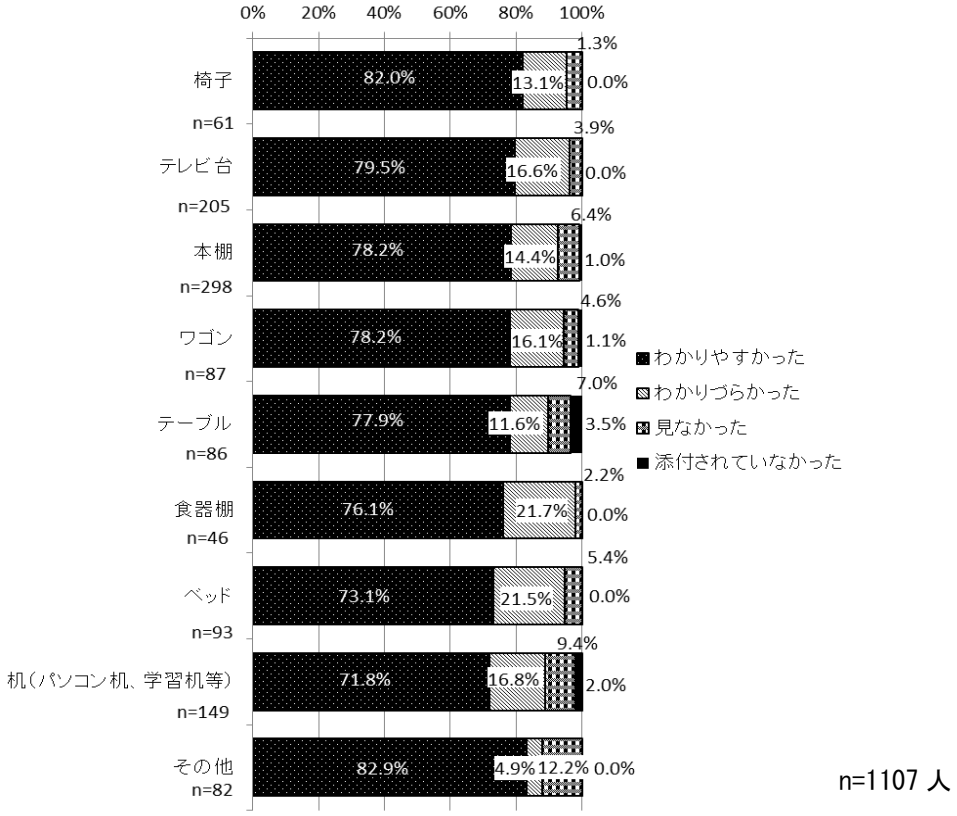


図 2-14　家具の種類別の「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさ

(ｷ)　家具の組み立て難易度と「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさ

(ｵ)の家具の組み立て難易度別に、(ｶ)の直近で組み立てた家具の「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさを調査した結果を「図 2-15」に示す。

家具を組み立てやすく感じる人は、説明書等もわかりやすいと感じる傾向にある。

一方、家具を組み立てづらく感じる人は、説明書等もわかりづらいと感じる傾向にある。

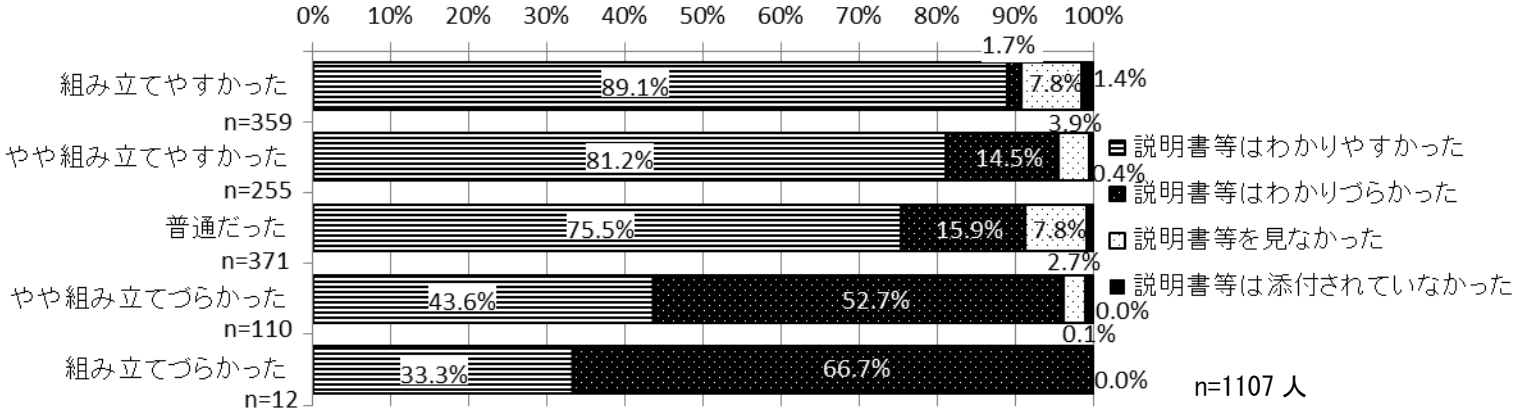


図 2-15　家具の組み立て難易度と「取扱説明書」「組立説明書」のわかりやすさ

(ｸ)　組み立てがスムーズに行えなかった経験と危害経験

家具の組み立て中において、組み立てがスムーズに行えなかった経験の有無を「図 2-16」、組み立てがスムーズに行えなかった原因を「図 2-17」に示す。

組み立てがスムーズに行えなかった経験者は 41.6%おり、そのうち 6.5%はケガをしている。組み立てがスムーズに行えなかった原因では、「部品にバリや鋭利な突起等があった」が最も多く、それが原因でケガをした件数も最も多い。

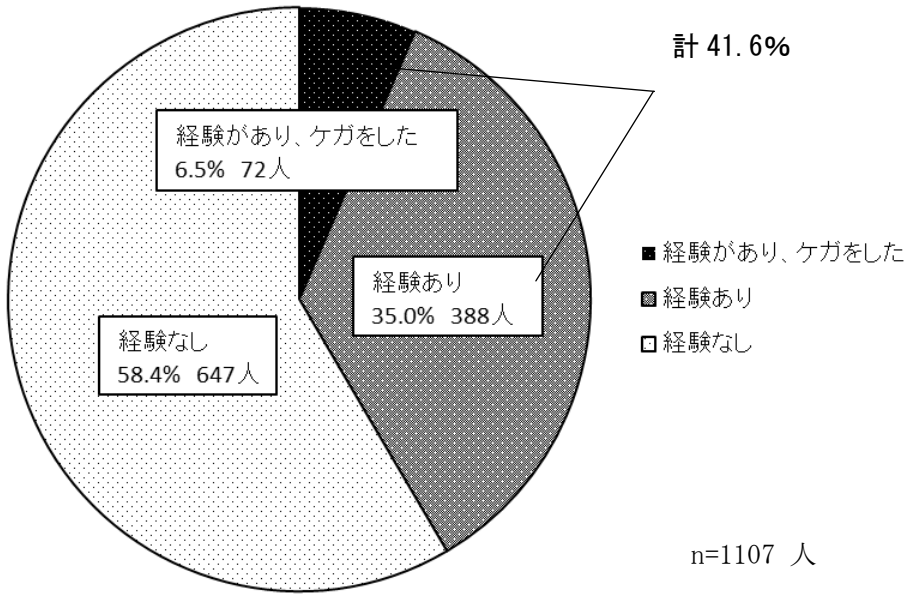


図 2-16　家具の組み立てがスムーズに行えなかった経験の有無

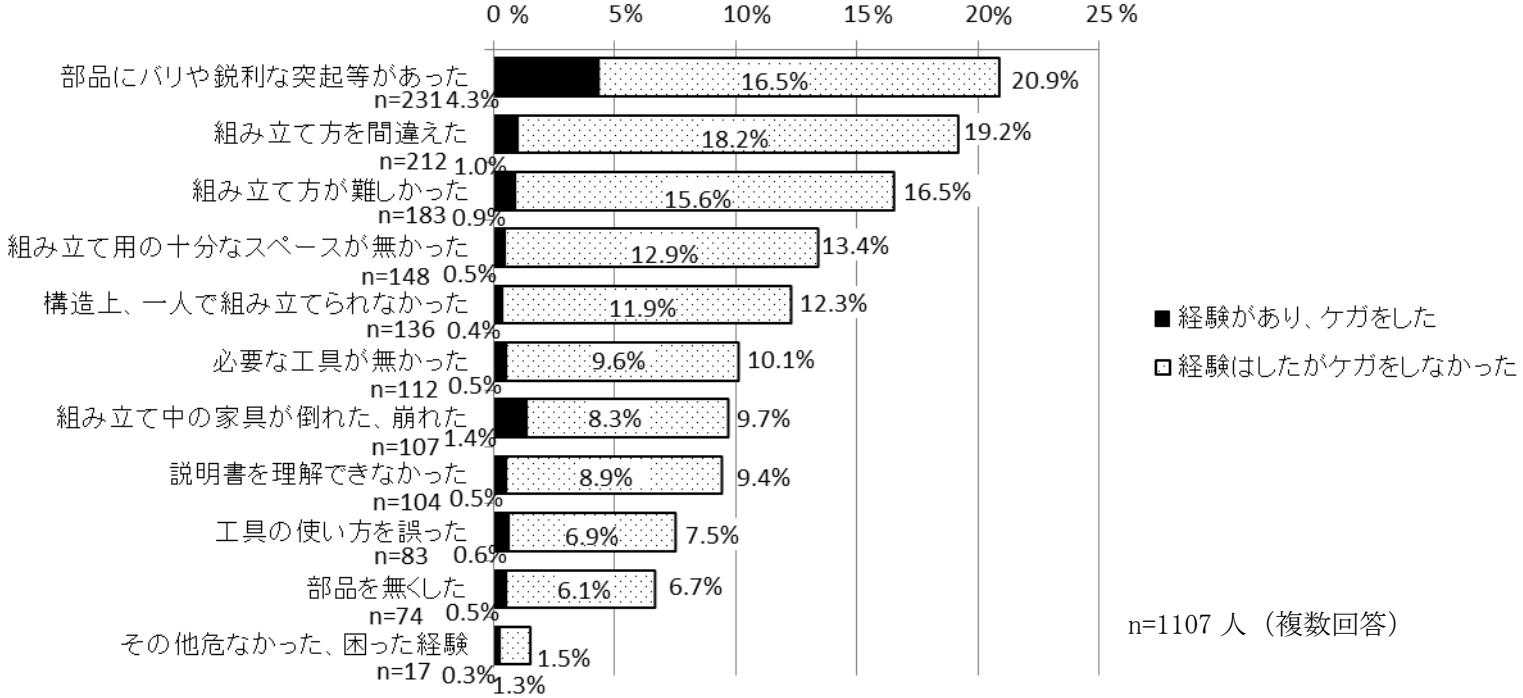


図 2-17　組み立てがスムーズに行えなかった原因

〈事例〉

家具の組み立てがスムーズに行えなかった経験と危害事例		回答者の性別/年齢
組み立て方を間違えた	食器棚の組み立て中に、ガラスの扉を間違えて取り付けて直そうと思い、外したら割れた。	男性 40 歳代
組み立て方が難しかった	テレビ台の脚と台をくっつけているときに上手くできなくて指を挟んだ。	女性 20 歳代
部品にバリや鋭利な突起等があった	本棚を組み立て中、部材にバリがあり、とげが刺さって出血した。	男性 40 歳代
組み立て用の十分なスペースがなかった	ラックを組み立てる際十分なスペースがない上に、部品が重かったので組み立てるのにとても時間がかかった。	女性 50歳代
説明書を理解できなかった	ワゴンを組み立てた時に説明書の記載がよくわからず、ワゴンを壊してしまいそうになった。	男性 40 歳代
説明書を読まなかった	ステンレスの切りっ放しのパイプを組み立てる時、説明書を読まずに組み立てたら切り口で掌を切った。後で説明書を読んだらちゃんと切り口に注意と記載されていた。	女性 60 歳代
一人で組み立てられなかった	本棚を組み立てた際、家具が重たくて一人で支えるのがしんどかった。向きを変えるとき、思ったより勢いよく倒れてきたので足が下敷きになりそうになった。	女性 20 歳代
部品を無くした	食器棚を組み立てた時にねじが多く、何度もなくした。	女性 30 歳代
組み立て中の家具が倒れた、崩れた	机を組み立てていた時、仮組しておいた部品を立てて置いておいたところ、バランスを崩して倒れそばにいた母親に当たり打撲を負わせてしまった。	男性 40 歳代
必要な工具がなかった	机を組み立てた時、必要な工具がなく、難航した。	男性 20 歳代
工具の使い方を誤った	付属の工具の使用法が分からなかった。	男性 50 歳代

(ｹ)　使用中のトラブルと危害経験

使用中にトラブルのあった家具の種類を「図 2-18」、使用中にトラブルが発生した時の使用年数を「図 2-19」、使用中のトラブル経験を「図 2-20」に示す。

家具の種類別では、本棚が最も多く、使用年数では、1 年未満が最も少ない。トラブルの内容では、「ボルト・ねじ等が緩んできた」が最も多く、それが原因でケガをした件数も最も多い。一方、「家具が倒れた」経験をした人数は少ないものの、ケガをした割合は高い。

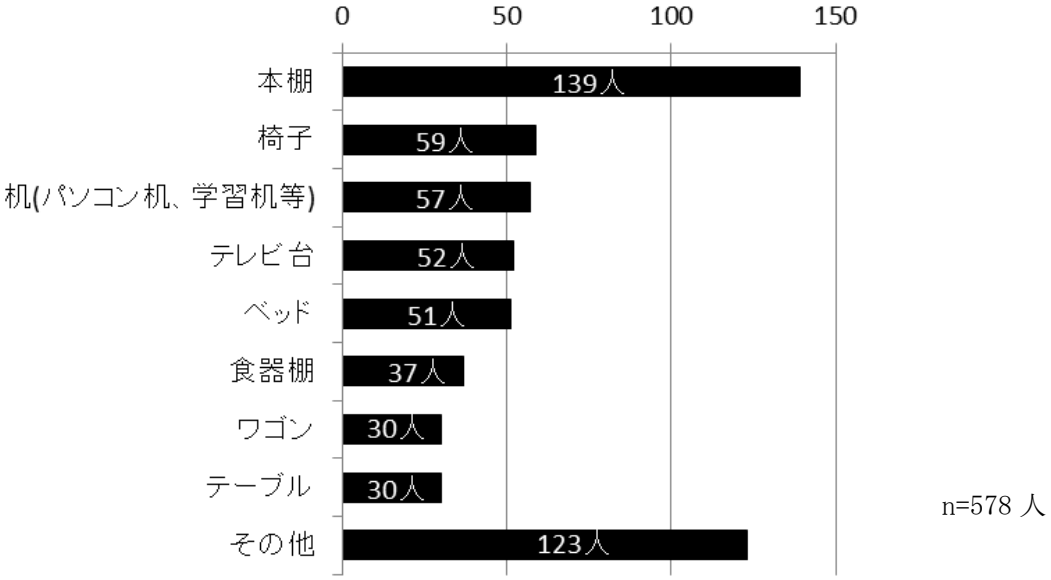


図 2-18　使用中にトラブルにあった家具の種類

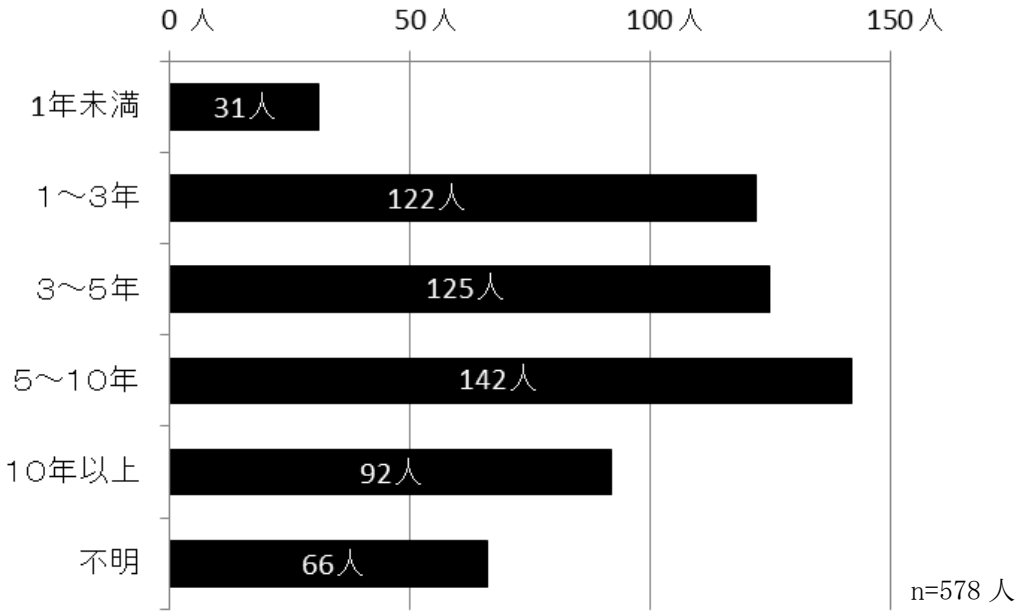


図 2-19　使用中にトラブルが発生した時の使用年数

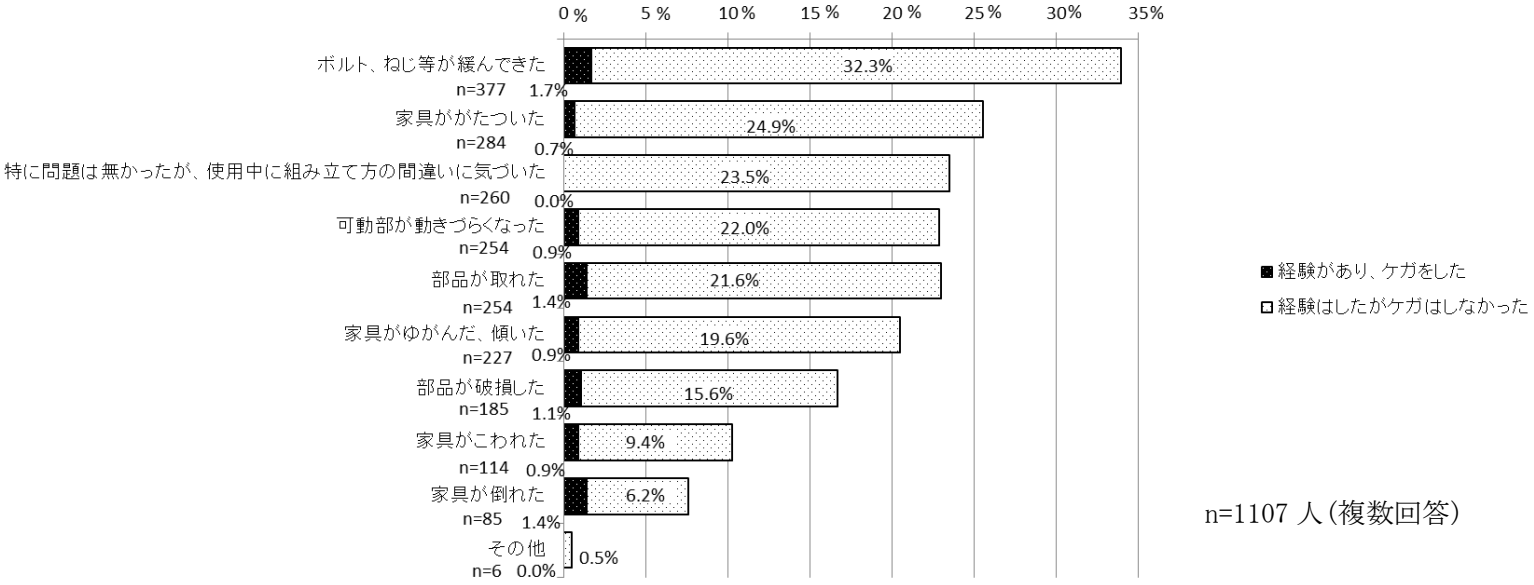


図 2-20　使用中のトラブル経験

〈事例〉

使用中におけるトラブル事例		回答者の性別/年齢
ボルト、ねじ等が緩んできた	机を組み立て、使っているが、使用中にねじがゆるんで、ストンと落ちてしまうことがある。そのたびに入れなおすが、またゆるむ。	女性 30 歳代
	組み立て終わったと思い設置したところ、棚を留めているねじが緩んできてしまい、棚が崩れた。	男性 50歳代
家具ががたついた	スタンドミラーを組み立てて使っている。当初からがたつきがあったが、しばらくするとキャスターが取れてしまった。	女性 40 歳代
	ベッドの使用中、はしごががたつき、滑って足をぶつけた。	女性 40 歳代
家具の組み立て方を間違えていた	ワゴンの引き出しがスムーズに動かなかったが、使用してから１年ほどして組み立て方を左右間違えていていたことに気がついた。	女性 50 歳代
可動部が動きづらくなった	小型のタンスを組み立てたとき、取り付けが甘かったのか、全体的に歪みがあり、引出の開け閉めがスムーズにできなかった。	女性 30 歳代
部品が取れた	食器棚についていたかんのん開きの扉の調節がうまくいっておらず、突然外れた。	女性 40 歳代
家具がゆがんだ、傾いた	テレビ台を組み立てた時、しっかりとねじを締めたのにバランスが悪くガタガタしていて、ずっと使っているとテレビの重みでゆがんできてしまった。	女性 40 歳代
部品が破損した	本棚を組み立てて使っていたところ、ガラス戸の蝶番が壊れて倒れてきた。	女性 40 歳代
家具がこわれた	食器棚を組み立てたが、扉がずれていたり引出が早くも壊れている。	女性 60 歳代
家具が倒れた	組み立て式のテーブルを使っていて、ギシギシ音がしていたので直そうと思っていたがなかなか直さないでいたらテーブルの脚４本が斜めになって倒れそうになった。	男性 30歳代

(ｺ)　組み立て式家具に関する要望

組み立て式家具に関する要望（記述回答）を聞いたところ 309 人から要望が寄せられた。記述回答を分類した結果を「図 2-21」に示す。

「取扱・組立説明書の改良に関する意見」が 209 人で最も多い。

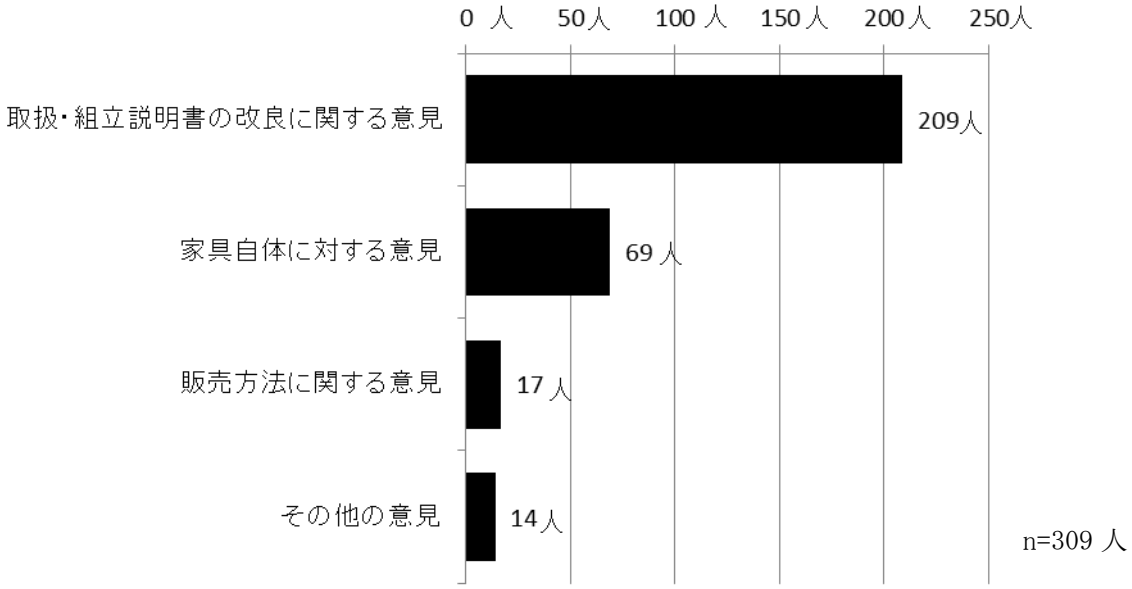


図 2-21　組み立て式家具に関する要望

＜記述回答＞

組み立て式家具に関する要望		回答者の性別/年齢
説明書に注釈、作業分担方法を記載してほしい	ほとんどイラストだけのものがあるが、誰かが押さえておかなくては接合しづらい部分などにきちんと注釈をつけてほしい。組み立て人数の目安が書いてあるものがあるが、どうやって作業分担するべきなのかを書いておいてほしい。	男性 40 歳代
説明書に注意喚起文を増やしてほしい	指を挟んだりすることが多いので、組み立て経験が浅い(少ない)人への注意は重要だと思う。女性を意識すると、男性の感覚以上に、注意を喚起するような記述が必要ではないか。	男性 40 歳代
説明書の文字を大きくし、写真をつけてほしい	説明書の文字を大きくわかりやすくしてほしい。説明図だけでなく、説明写真もあるといい。	女性 ５０歳代
購入前に組み立て難易度がわかるようにしてほしい	一人で組み立てて設置が可能かどうか、組み立ての難易度が購入前に分かるとよい。	女性 ４０歳代
説明書の内容が購入前にわかるようにしてほしい	ネット販売の場合、ホームページ上で説明書の内容を商品説明に添付するのを義務づけてほしい。	男性 50 歳代
部品に番号をふってほしい	似たような形状の部品は、説明書の絵と現物にナンバーリングをした方がわかりやすい。	男性 50 歳代
バリをとっておいてほしい	バリや飛び出しはケガの元になるので良くとってあるとありがたい。	女性 ７０歳代以上
予備部品を準備しておいてほしい	予備部品の準備はしておいてほしい。	男性 20 歳代
組み立てやすいように梱包を工夫してほしい	いくつかに梱包が分かれてくる時には、組み立てしよう順に梱包を分けて欲しい。梱包のしやすさ優先だと、全ての梱包を開けてみないと部品が出てこない。梱包に番号を振って、番号順に開けたら組み立てるようになるとよい。	男性 50 歳代

⑶ モニターによる組み立てテスト

組み立て式家具の組み立て未経験者による家具の組み立てテストを行った。

ア 検体

品　　目	都内で購入が可能な組み立て式家具(食器棚、本棚及びワゴン)
数　　量	各２検体　計６検体
調達店舗	インターネットによる通信販売及び店舗販売等から選定

イ 方法

１名あたり１つの家具を組み立てた。

モニターの体力等を考慮し、安全確保及び家具の支持のため、安全監視員を配置し、安全に組み立てられる家具で行った。

ウ 確認項目

モニターに組み立て式家具を梱包状態から組み立てさせ、組み立ての際のトラブルの有無等について確認した。

(ｱ) 作業時間

(ｲ) 作業時の問題点

(ｳ) 完成品の問題点

(ｴ) モニターへのアンケート

テストが終了したモニターに対し、以下のアンケートを実施した。

【アンケート設問】

Ｑ１　今回初めて組み立て式家具を組み立てる経験をしてみて、組み立てる前に思っていたものと比べてどう思いましたか。

Ｑ２　今回組み立て式家具を組み立てた際に、難しいと感じた部分はどこですか。

Ｑ３　今回組み立てた家具の「取扱説明書」や「組立説明書」等はわかりやすかったですか。

Ｑ４　今回組み立てた家具の部品の配置はわかりやすかったですか。

Ｑ５　組み立て式家具の組み立て時に以下のことがありましたか。

・組み立て中の家具が倒れたり崩れたりした
・部品にバリや鋭利な突起等があり、ケガをした
・部品をなくした
・工具を正しく使えなかった
・その他

エ　結果

(ｱ) 食器棚の組み立て（30 代男性、40 代女性）

a. 30 代男性

作業時間：４時間３０分

作業時の問題点：特になし

完成品の問題点：部品のずれ

アンケート回答：Ａ１　家具を組み立ててみて、思ったより簡単に感じた。

Ａ２　手順ページ以外の場所に微調整を行う方法に関する解説があり、気づくまで時間がかかった。微調整用ねじの回す方向が説明書に正しく記載されていなかった。

Ａ３　商品添付の説明書はわかりやすかった。

Ａ４　商品の部品配置はわかりやすかった。

Ａ５　組み立て時に大きなトラブルはなかったと思う。

全体を通じて：細かい部分の調整に問題があるものの、概ね良好な仕上がりだった。

一つずつメモを取りながら部品の確認をしていた。

バリでケガをしないよう軍手を使用し、作業した。

扉の下部に 5㎜ 程度のずれがあった。

b. 40 代女性

作業時間：３時間

作業時の問題点：組み立て方の間違い　工具の落下

完成品の問題点：取り付けの間違い　部品のずれ

アンケート回答：Ａ１　家具を組み立ててみて、思ったとおり難しく感じた。

Ａ２　板の表と裏がわかりづらかった。板に番号が記載されていたが、わかりづらかった。板の上下がわかるように目印をつけてほしい。

Ａ３　商品添付の説明書はわかりづらかった。

Ａ４　商品の部品配置はわかりづらかった。

Ａ５　特に問題なく組み立てられた。

全体を通じて：組み立て中に数回の組み間違えや、ドライバーを落とすことがあった。完成品は上部扉のつけ間違いはあるものの、概ね良好な仕上がりだった。

取扱説明書を確認し、ねじを付け間違えた際にもすぐに修正を行った。

途中裏板を付け忘れ、途中で組み立て直した。

扉の上下を間違えていた。

(ｲ) 本棚の組み立て（50 代男性、20 代女性）

a. 50 代男性

作業時間：２時間３０分

作業時の問題点：組み立て方の間違い

完成品の問題点：大きながたつき　取り付けの間違い

ねじのゆるみ　取り付けていない部品がある

アンケート回答：Ａ１　家具を組み立ててみて、思っていたよりも難しく感じた。

Ａ２　裏板の取り付け方がよくわからなかった。接着剤を使う箇所がよくわからなかった。取扱説明書の記載が簡単に書いてあり、理解できなかった。

Ａ３　商品添付の説明書はわかりづらかった。

Ａ４　商品の部品配置はわかりづらかった。

Ａ５　組み立て中に家具が倒れたり崩れたりした。

全体を通じて：最初に取扱説明書に目を通したものの、取扱説明書の手順に従わずに、組み立てを行っていた。部品の付け間違えが多く、部品の取り付けができないなどの問題が起きた。部品の溝に差し込む部品をボンドで取り付けたために、組み立て中に部品が落ちるトラブルがあった。組立てた本棚は、裏板がない、棚板が不足している等、本来の完成形とは異なる仕上がりだった。

不安定な状態で作業を行っていた。

部品の溝に差し込む部品をボンドで取り付けたために、部品が落ちてきた。

外枠を横にしたまま棚板を設置したため、何度も棚板が倒れた。

完成品は不安定であった。

地板の向きが逆になっていた。

組み立て方を間違え、ねじが入らなかった部分があった。

b. 20 代女性

作業時間：２時間

作業時の問題点：組み立て方の間違い　工具の落下

完成品の問題点：若干のゆがみ　取り付けの間違い

アンケート回答：Ａ１　家具を組み立ててみて、思っていたよりも難しく感じた。

Ａ２　部品がどれも同じような形だったので、作業に使用する部品を探すのが大変だった。「底板」と記載があったが、何のことかよくわからなかった。ねじとねじ穴がうまく合わないことが多く、無理やり回さないといけなかった。

Ａ３　商品添付の説明書はわかりづらかった。

Ａ４　商品の部品配置はわかりづらかった。

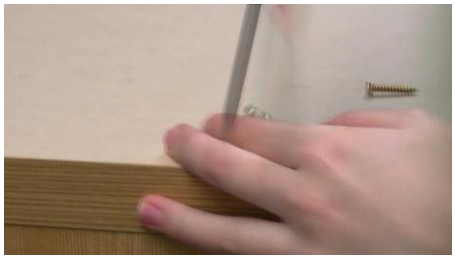
Ａ５　特に問題なく組み立てられた。

全体を通じて：組み立て中に数回の組み間違えがあったものの、取扱説明書の内容をよく読み、適切に対処していた。

上部扉を組み立てる作業では、頭よりも高い位置でガラス戸の取り付けを行う必要があり、ドライバーを落とすというトラブルがあった。完成品は上部扉のつけ間違いや、扉部の調整不測はあるものの、概ね良好な仕上がりだった。

取扱説明書を確認し、ねじを付け間違えた際にも円滑に対応した。

途中裏板を付け忘れ、組み立て直した。



転倒防止用部品を取り付けるために、ドライバーで穴をあけようとしていた。

(ｳ) ワゴンの組み立て（70 代男性、60 代女性）

a. 70 代男性

作業時間：１時間

作業時の問題点：工具の使い方間違い　組み立て方の間違い

完成品の問題点：ゆがみ　がたつき　ねじのゆるみ　取り付けの間違い

アンケート回答：Ａ１　実際に家具を組み立ててみて、思ったとおり難しく感じた。

Ａ２　天板を止めるねじが固くて入りにくい。もう少し大きい穴をあけておいてほしい。

横棒の配置の確認に時間がかかったが、配置がわかれば後は自然にできた。

カゴを置く部分の金具の使い方がわかりづらかった。

Ａ３　未回答

Ａ４　商品の部品配置はわかりづらかった。

Ａ５　組み立て中に家具の倒れ・崩れがあった。

部品のばり等でケガをした。

組み立て中に部品をなくした。

工具を正しく使えなかった。

全体を通じて：組み立て説明書を見ずに作業を行っており、見た目上明らかではないものの、間違って組み立てている部分が多かった。工具の使い方間違いがあり、ねじ等の締めつけが 1～2.5 回転分甘かった。取り付けの間違いや全体的ながたつきがあった。

開梱し、カッターを使用する際にカッターで手を切りそうになった。

組み立て始めは付属されている六角棒スパナを使うことができず、六角穴付きボルトをドライバーで締めていた。

上部フレームの上下を間違えたため、完成品の天板がゆがんでいた。

b. 60 代女性

作業時間：１時間３０分

作業時の問題点：工具の使い方間違い

完成品の問題点：がたつき　ねじのゆるみ

アンケート回答：Ａ１　家具を組み立ててみて、思ったとおり簡単だった。

Ａ２　ねじを板に差し込む時、力が必要でなかなか差し込めない部分があった。

Ａ３　説明書類でわかりづらいところはなかった。

Ａ４　商品の部品配置はわかりやすかった。

Ａ５　工具を正しく使えなかった。

全体を通じて：組み立て中に数回の組み間違えがあったものの、途中で間違いに気づき､修正を行っていた｡ねじ等の締めつけが１回転分甘く、全体的ながたつきがあった。

付属されている六角棒スパナの使い方がわからず、ドライバーで六角穴付きボルトを留めていた。

組み立て中のワゴンを揺らしてがたつきを確認していた。

キャスターを脚部に押し込む際に手を挟まないよう気を付けて作業を行っていた。

(エ)　モニターによる組み立てテストのまとめ

モニターのよる組み立てテストの結果をまとめたものを「表 2-3」に示す。

モニターによる組み立てテストにおいても、ねじのゆるみや組み立て方の間違いが散見された。組立説明書に従わずに組み立てを行ったモニターは、組み立て中に家具が崩れるなどのトラブルが発生していた。

表 2-3　モニターによる組み立てテスト結果

年代・性別		20 代 女性	30 代 男性	40 代 女性	50 代 男性	60 代 女性	70 代 男性
家具の種類		本棚	食器棚	食器棚	本棚	ワゴン	ワゴン
作業時の問題点	組み立て方の間違い	■	―	■	■	―	■
	工具の使い方間違い	―	―	―	―	■	■
	工具の落下	■	―	■	―	―	―
完成品の問題点	ねじのゆるみ	―	―	―	■	■	■
	がたつき	―	―	―	■	■	■
	ゆがみ	■	―	―	―	―	■
	部品のずれ	―	■	■	―	―	―
	取り付けの間違い	■	―	■	■	―	■
	取り付けていない部品がある	―	―	―	■	―	―

３　まとめ

家具の組み立て経験のある人のうち、組み立てがスムーズに行えなかった経験のある人は41.6%おり、そのうち6.5%はケガをした経験がある。組み立てがスムーズに行えなかった原因、ケガの原因は「部品にバリや鋭利な突起等があった」が最も多く、中には、家具の崩れによりそばにいた家族がケガをしてしまう事例もある。

組み立て後においても、52.2%の人が組み立て式家具の使用中のトラブルを経験しており、3.0%の人はトラブルによりケガをしている。トラブルの原因、ケガの原因共に「ボルト、ねじ等が緩んできた」が最も多い。

モニターによる組み立てテストにおいても、アンケート調査結果と同様に、ねじのゆるみや組み立て方の間違いが散見された。

４　消費者への注意喚起

(1) 事前に説明書等をよく確認しましょう。

説明書に従わず間違って組み立てると、家具の破損やケガなど、思わぬ事故につながります。

店頭やメーカーのホームページなどで、説明書等を理解できるか、自分で作れるかなど、購入前に確認しておくことも大切です。

(2) 組み立て中の安全対策をとりましょう。

組み立て中は、部品のバリや家具が倒れるなどが原因で、ケガをするおそれがあります。部品にバリがある場合は手袋をつける、他の人に支えてもらいながら複数人で作業を行うなど、安全でスムーズに組み立てるための対策をとりましょう。

(3) 組み立て後も定期的にねじのゆるみなどを確認しましょう。

ボルトやねじ等がゆるんだまま使用していると、家具が崩れるなどの大きな事故につながるおそれがあります。ねじ等のゆるみや家具のがたつきなど、定期的に確認しましょう。

５　業界団体への情報提供

一般社団法人日本家具産業振興会及び、一般社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会、公益社団法人日本通信販売協会、日本チェーンストア協会に本結果について情報提供を行い、注意喚起等への活用を依頼する。